

マンドリン四重奏団クアドリフォーリオ

「クアドリフォーリオ」はイタリア語で「四つ葉のクローバー」を意味する言葉です。

四つ葉のクローバーを見つけた人に幸運が訪れるように、皆様におすすめの音楽をお届けしたいという願いが込められています。

活動履歴

- 2013年 3月 第五回演奏会 東京・ルーテル市ヶ谷ホール
- 2012年 4月 第四回演奏会 大阪・ムラマツリサイタルホール新大阪 共演 松田 弦 (ギター)
- 2012年 3月 第三回演奏会 東京・ルーテル市ヶ谷ホール 共演 松田 弦 (ギター)
- 2011年 10月 第六回全国マンドリン四重奏コンクール第二位
- 2011年 8月 第二回演奏会 広島 東区民文化センター小ホール 共演 :P no Bozzob(マンドリユート&ギター)
- 2011年 4月 第一回演奏会 東京・ルーテル市ヶ谷ホール 共演 :P no Bozzob(マンドリユート&ギター)



林 真衣 Mai HAYASHI 第一マンドリン

広島県出身。早稲田大学教育学部卒。
広島女学院中学高等学校マンドリン部にて松重正清氏のもとマンドリンを始め、15才より新井義悠氏に師事。200年より東京にてギター・マンドリンのソリストグループ「スフィダ」を主宰。
200年日本マンドリン室内楽コンクール第三位。
201年 第 回大阪国際マンドリンコンクール次位。
川口雅行氏、Kハリス氏、Mスクイランテ氏のマスタークラスを受講。
駒澤大学ギターマンドリンクラブ技術顧問。広島市フェニックス賞受賞。



小河真与 Mayo OGO 第二マンドリン

兵庫県出身。
幼少時にピアノを、県立姫路西高等学校在学時にマンドリンを始める。
ドイツ国立ケルン音楽大学ヴァイタル校で学び、室内楽を中心に活動。
帰国後、慶應義塾大学文学部を卒業。
2007年 第 2回 MUS CA MANDOLINO 合奏コンクール東京に八重奏団マンドリン・アンサンブル ソーレで出場し第二位。
これまでに川口雅行、Caterina Lichtenbergの両氏に師事。



伊集大ニ Daiji IJU マンドラ・テノーレ

東京都出身。慶應義塾大学大学院理工学研究所修士課程修了。
慶應義塾高校にてマンドラ・テノーレを始め、高校三年次に全国高校ギター・マンドリンフェスティバルにて朝日新聞社賞を受賞。
同大学では首席奏者を務める。
現在はプレクトラム・ソサエティ、マンドリン合奏団「玄」、メロポリタン・マンドリンオーケストラ、リベルテ・マンドリンオーケストラに所属。
リベルテでは、200年 MUS CA MANDOLINO 合奏コンクール東京第 1位。
CD「協奏曲集 四季」の収録に携わる。長野県在住。



徳能総彦 Fusahko TOKUNO マンドロンチェロ

高知県出身。
高知学芸中学高等学校マンドリン部にてマンドロンチェロを始める。
立命館大学マンドリンクラブにて木下正紀氏の指導を受け、三年次からは同部で首席奏者を務める。
現在は東京を拠点にスフィダ、マンドリン・アンサンブル・ピアンカフィオーリ、マンドリンオーケストラ La Febbre Leggera (微熱) などでマンドロンチェロ、マンドロ・ネ奏者として活動している。



イタリアの伝統楽器 マンドリン
マンドリンはイタリア発祥の弦楽器で、明るく、どこかつかみい音色が魅力です。
クアドリフォーリオでは、高音を担当するマンドリン、マンドリンより一回り大きく中低音を担当するマンドラ・テノーレ、さらに大きく低音を担当するマンドロンチェロの三種類の楽器を使用しています。

海に見える街：久石 譲
スタジオジブリのアニメ映画「魔女の宅急便」(1989年公開)のために作られた曲。
同曲に歌詞を付けた「動く季節」(作詞:吉元由美、歌:井上あずみ)でも知られています。

Four Leaf Clover for Mandolin Quartet：小関利幸
「四つ葉のクローバー」の各葉には、それぞれ「希望」「誠実」「愛情」「幸運」という意味があります。本曲は、これら各葉の意味からイメージを膨らませて作られたマンドリン四重奏編成の組曲です。”作曲者記

弦楽四重奏曲第 1番「アメリカ」：A ヴォルザーク
後期ロマン派を代表する作曲家のひとりであるヴォルザークによって 1899年に作曲された弦楽四重奏曲。全楽章を通じて、アメリカ音楽を彷彿とさせる独特のメロディーが特徴的で、特に親しまれている作品のひとつです。

コンサートホールみすず (美鈴楽器本店内)
長野駅より徒歩 7分
中央通り、アゲインビル斜め前
〒380-0826 長野県長野市北石堂町 1403-1
TEL 026-223-6000

未就学児の入場はご遠慮ください。 出演者への贈り物は辞退致します。